

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和5年7月26日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒530-000 大阪府大阪市北区中之島3-3-3（中之島ビルディング6F）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社椿本チエイン 代表取締役社長 木村 隆利

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	株式会社椿本チエイン 環境マネジメントマニュアル (ISO14001)
適 用 範 囲	京田辺工場、長岡京工場
導 入 年 月 日	2003年9月26日(京田辺工場), 2004年12月16日(長岡京工場)
認 証 番 号	JQA-EM3392(京田辺工場), JQA-EM6522(長岡京工場)
基 本 方 針	私たちは、つばきグループの環境理念に基づき、地球環境の保全を経営の最重要課題の一つと位置づけ、パワー伝送ミッション機器とマテリアルハンドリングシステムの開発、設計、製造、販売及び、サービスの事業活動において、以下の方針により自主的に環境管理活動に取り組めます。 1. 汚染の予防と環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。 2. 関連する法規制・協定及び顧客要求等を順守します。 3. 京田辺工場と長岡工場のために働く全ての人が環境方針の理解を深めると共に、環境保全の重要性を自覚して、その維持・向上に努めます 4. 下記項目を重点テーマにあげ、目的・目標を定めて環境負荷の低減に継続的に取り組めます。 (1) CO2排出量の削減 (2) SDGs 配慮商品(エコ商品)の拡大 (3) 省資源・再資源化活動 (4) 有害化学物質の管理
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	・CO2排出量の削減 (2025年度に2013年度比30%削減、2030年度に2013年度比46%削減) ・再資源化・省資源化(リサイクル率99%以上) ・廃棄物外部排出量削減(2017年度比5%削減)
目標を達成するための取組の内容	事業活動を通じたCO2排出削減と資源循環推進 1. 工場運営における省エネ、省資源、生産性向上、高効率設備導入、再生可能エネルギー導入と活用 2. エコ・ファクトリー認定制度の推進(CO2削減、有害物質削減、廃棄物リサイクル、水の有効利用、緑化率向上)
目標を達成するための取組の進捗状況	・省エネ照明への切替え(LED・高効率HID灯等の採用)を実施中 ・インバーター式コンプレッサーへの更新を実施中 ・構内ビル用マルチエアコンの更新を実施中 ・生産用設備モーター(高効率)の更新を実施中 ・大型動力プレス回生エネルギーの電源化改造を実施中 ・高効率生産設備への更新を実施中 ・省エネ空調機への更新を実施中 ・空調管理の徹底を実施中 ・再生可能エネルギーの導入中 ・焼入設備バーナー空気比の見える化、最適化を実施中 ・連続エアブローのパルスブロー化を実施中 ・高効率トランスへの更新を実施中
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画通りに取り組むことができている
事業活動に係る法令の遵守の状況	関係法規の順守状況については、監視・測定管理基準に則り、定期的に確認を行っている。これまで違反及び行政当局やISO14001定期及び更新審査において指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、環境内部監査や定期審査の結果をもとに、原則として1年に1回検討している。 2020年度は目標及び取組み内容により一定の成果が見られたことやISO14001更新審査において、適用規格の中でマネジメントシステムが維持されていると判断されたことから、2021年も同一のシステムにより運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。